

1 自ら学ぶ意欲づくり

基本的な方向

- ・情報通信分野における技術の高度化や機器の普及が急速に進み、私たちの生活や経済活動において、情報の持つ役割がますます大きくなっている。
- ・さまざまな情報が氾濫するなか、亀岡らしい個性ある情報を蓄積するとともに、その情報を人と人とのふれあいを基本として適切に提供する体制づくりを進める。
- ・また、情報機器の普及や高度化などに対し、情報を使いこなす知識や技術習得に向けて市民自らが主体的に学ぶ機会づくりに努める。

推進施策

(1) 広報・啓発の充実

- ①広報活動の充実
- ②亀岡生涯学習賞の充実
- ③生涯学習関連事業の開催・誘致
- ④行政職員意識の醸成

(2) 個性ある情報の蓄積と発信

- ①地域文化・文化財情報の発信
- ②学習関連団体等の連携
- ③情報学習の推進
- ④多様な学習関連団体のネットワーク化の促進

(3) 学習機会の情報提供

- ①市民生涯学習ニーズの把握
- ②情報提供・学習相談機能の充実
- ③子育て情報受発信の充実
- ④スポーツ関連情報の発信
- ⑤環境に関わる情報の受発信

主な成果と課題

○成果

- ・広報活動の充実
ホームページ、SNSを活用した学習情報の発信（亀岡市、市民活動推進センター）
広報誌と併せた広報により、様々な年齢層の目に触れる広報ができた
- ・生涯学習関連事業の開催・誘致
生涯学習都市宣言記念事業「学びフェスタ」の開催により、学習団体間の連携の強化と市民を巻き込んだこれまでの生涯学習の成果とこれからの個々の展望を検討できた。
- ・生涯学習賞の充実
「共生賞」の創設による事業の充実を図れた

○課題

- ・多様な学習関連団体のネットワーク化の促進
イベント開催時や既存のつながりを活かしたネットワークは強いが、新たなネットワークづくりや新しい団体と既存の団体とのつながりを促進する仕組みづくりにまでは至っていない。
- ・市民生涯学習ニーズの把握
H23に実施以来大規模な調査実績なし。
ガレリア事業においてアンケート調査は行っているが、ガレリア事業参加者以外のニーズ調査には至っていない。

重点事業及び主な事業の取組状況一覧

◆重点関連事業 ●その他事業

◆生涯学習に対するニーズ調査の充実

- ・市民（個人、団体）、子育て世代に対する生涯学習市民ニーズ調査の実施

◆亀岡生涯学習賞の充実

- ・生涯学習大賞「石田梅岩賞」、生涯学習ゆう・あい賞「千登三子賞」、生涯学習奨励賞に加え、生涯学習共生賞の創設、表彰 ※H29年度からは共生賞の愛称を「上田正昭賞」とし、上田氏の共生の精神を継承

◆地域文化・文化財情報の発信（各宣言及びセーフコミュニティの啓発含む）

- ・常設展示会のほか、企画展2回、特別展1回など文化資料館における展示事業を開催
- ・キラリ☆亀岡（市広報紙）における「文化財めぐり」連載の掲載
- ・上田正昭文庫の調査研究
- ・セーフコミュニティ再々認証（H30）
- ・生涯学習都市宣言30周年事業開催

◆情報学習の機会づくり

- ・生涯学習かめおか財団のパソコン講座を SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）講座等へ切り替え
- ・教員を対象とした情報教育に係る研修の実施
- ・かめおか市民活動推進センターパソコン講座

◆学習関連団体のネットワーク化の促進

- ・かめおか市民活動推進センター主催の交流会、講座の開催

◆子育てサポートの推進と各関係機関との連携

- ・子育て支援センターにおける、ひろば事業、つどい事業、相談事業、情報提供事業の充実とコーディネート機能の強化
- ・子育て親育ち講座などの講座の実施
- ・かめおか子ども子育てハンドブックの発行
- ・イクボス・プロジェクトの実施

◆環境関連団体の活動情報の提供

- ・亀岡市、亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会、クリーンかめおか推進会議、（公財）亀岡市環境事業公社の主催による「環境フェスタ（講演会、アニメ上映等）」の開催
- ・ライトダウン in かめおか、みどりのカーテンの実施
- ・保津川の日の開催（環境保全啓発事業）※H30年度から環境に係る出前事業の実施等を検討
- ・プラごみゼロ宣言
- ・電力会社（ふるさとエナジー株式会社）設立

●広報活動の充実

- ・FB等のSNSを活用した情報発信の促進

●職員意識の醸成

- ・新採研修をはじめとする研修や外部研修への参加推奨

●スポーツ関連情報の発信

- ・かめおかハーフマラソンをはじめとするスポーツ関連情報の発信
- ・京都スタジアム（仮称）に係る情報発信

2 楽しく学べる学習機会の充実

基本的な方向

- ・本市では、全国に先駆けて「生涯学習のまちづくり」を標榜し、市民、関連団体、行政が一体となって、その推進に努めてきました。その成果として、学習活動に対する市民の意欲は高く、また、市民主体の生涯学習活動が活発に展開されています。
- ・今後はさらに多様化・高度化する学習ニーズに適切に対応するとともに、参画する人の層を広げていくため、運営・参加して楽しいと感じられる学習機会を効率的・効果的に提供します。

推進施策

(1) 生涯を通じた学習機会の充実

- ① 三大シンボル講座の運営の効率化
- ② 生涯学習プログラムの充実
- ③ 出前講座等の開催
- ④ 高齢者学習の充実
- ⑤ 国際交流の充実

(2) 文化・芸術活動の支援

- ① 市民活動の支援
- ② 文化・芸術家の支援
- ③ 歴史文化の学習機会の充実

(3) 次代の学習活動の創出

- ① 環境実践学習の充実
- ② 介護学習・体験機会の創出
- ③ スポーツ参加機会の充実
- ④ 産業体験の機会づくり
- ⑤ 食育の推進
- ⑥ 市民まちづくり活動の促進

(4) 大学、企業との連携による学習機会の充実

- ① 地域生涯学習施設の効果的な活用
- ② 生涯学習拠点としての学校施設の活用

主な成果と課題

○成果

- ・ 生涯学習を通じた学習機会の充実
三大シンボル講座に加え、「輝きフォーラム」などの若者層が関心を持ちやすい事業の実施
- ・ 歴史文化の学習機会の充実
生涯学習の新たな拠点づくりとして、石田梅岩の生誕地を整備する事業の開始
- ・ 市民まちづくり活動
支えあいまちづくり協働支援金、市民活動を支える基金の創設、生涯学習事業助成金

○課題

- ・ 大学や研究機関、企業との連携による事業を充実させる体制づくり
事業内での連携はあるが体制づくりには至っていない
- ・ 人材バンク活用による講師派遣（出前講座）の実施
人材バンクの存在や活用について広報不十分
- ・ 社会人学習の推進
本テーマに限定したニーズ調査が不十分
既存事業についても高度な技術や新たな知識を得る機会としては不十分

◆市内の文化人・芸術家の活動支援と活動の市民へのPR

- ・市民文化祭、市民美術展の開催
- ・生涯学習かめおか財団によるサンデープチコンサートなどの開催
- ・国民文化祭の開催（23年度）で高まった文化意識・気運を高めるため、市民団体主催の「ひかるまちなみプロジェクト」（銚町でのあかりの点灯、能の舞踊）等の実施
- ・かめおか霧の芸術祭の実施

◆「先人に学ぶ」フォーラム・シンポジウムなど学ぶ機会の充実

- ・生涯学習かめおか財団による「先人に学ぶ、ひとつづくり・まちづくり～歴史から未来へのメッセージ」等の開催
- ・文化資料館での企画展示
- ・梅岩の里整備事業

◆市民参加の自然観察会、環境調査の充実

- ・内陸部の地域では全国初開催となる「海ごみサミット」を実施（24年度開始）
- ・大学、NPO等の専門家を講師に迎え、親子参加形式により亀岡の自然を体感しながら学ぶ「亀岡生き物大学」の開催。（延べ 人参加）
- ・環境フェスタ開催（環境に係る講演会、映画上映）（延べ 人参加）
- ・「保津川の日」の設定（25年度設定）
- ・外来魚駆除を目的とした釣り大会（計 回）※市民参加型

◆農林業体験の機会の充実

- ・市内小学校における農業体験授業の実施
- ・ふれあい農園の開設
- ・都市住民が農業体験を通じて食と農のつながりを学ぶ「かめおか農業塾」の開催
- ・地球環境子ども村の林業体験の実施
- ・農家民泊受け入れ先拡大

◆大学・企業との連携による社会人学習の推進

- ・生涯学習かめおか財団と京都学園大学の共催等による講座の開催
- ・地球環境学総合研究所：包括協定締結による「食と農のワークショップ」の開催

◆食育の推進

- ・健康増進課や教育委員会での事業、食生活改善推進員の活動
- ・「新 亀岡市食・農・健康・にぎわい行動プラン」にもとづき、食に通じる農の視点に立った実体験学習・料理塾の開催、地元産食材の利用促進。
- ・食育だよりの発行（計 回）
- ・学校給食における地元農作物使用推進
- ・料理塾の開催

●市民まちづくり活動の促進

- ・支えあいまちづくり協働支援金、生涯学習事業助成金、市民活動を支える基金の創設
- ・総合計画シンボルプロジェクトの実施（市民主体型企画立案プロジェクト）

●スポーツ参加機会の充実：亀岡ハーフマラソン、ふれあいスポーツデイ等の開催**●国際交流の充実：姉妹都市交流事業、ホストタウン決定・交流、ワールドフェスタ開催****●高齢者学習の充実：健康づくり教室、シルバー人材センターとの連携、健康いきいきフェスティバル****●介護学習・体験機会の充実：認知症サポート養成講座**

3 充実した学習基盤の活用

基本的な方向

- ・「ガレリアかめおか」が完成し、本市の生涯学習推進に大きな役割を担っています。
- ・今後は、生涯学習関連施設のバリアフリー化等の施設整備・充実に努めます。あわせて、ガレリアかめおかを中心に、市内の充実した生涯学習施設を効果的に活用するとともに、市域のどこでも高度な学習活動に参画できるよう、施設相互のネットワークの強化を図ります。
- ・また、社会経済環境の変化に伴う学習ニーズの多様化に対応し、本市の個性・独自性のある情報を発信する魅力的な学習施設の整備に努めます。

推進施策

(1) ガレリアかめおかの運営の効率化

- ① 学習プログラムの充実
- ② 学習情報の受発信機能の強化
- ③ 運営の効率化の推進
- ④ 学習活動への女性参画の支援

(3) 個性ある学習基盤の整備

- ① 自然・ふるさと体験学習の場づくり
- ② 亀岡の歴史文化を継承し、学ぶ場づくり
- ③ 余裕施設の効果的な活用の推進

(2) 身近な学習基盤の充実

- ① 地域生涯学習施設の効果的な活用
- ② 生涯学習拠点としての学校施設の活用
- ③ かめおか市民活動推進センターの機能強化
- ④ スポーツ施設の充実

(4) 生涯学習施設のネットワーク化

成果と課題

○成果

- ・ガレリアかめおか運営効率化
ガレリアかめおか指定管理者の公募により広い視野で検討
月1回の連絡調整会議（市・指定管理者）で検討
- ・余裕施設の効果的な活用
かめおか市民活動推進センターの一般利用者への貸し出し
亀岡市交流会館空き教室の市民団体への貸し出し
- ・学習情報の受発信機能の強化
ガレリアニュース（月1回、紙）の発行

○課題

- ・生涯学習施設のネットワーク化
市内施設間の情報共有する仕組みの整備には至っておらず、情報の集約ができていない
- ・余裕施設の効果的な活用
市民活動推進センターの一般利用者への貸し出しについてさらに周知する必要あり
- ・学習情報の受発信機能の強化
ガレリアを会場とするイベントの情報発信はできているが、その他各種団体の活動内容や生涯学習に関わる情報の発信には至っていない。

重点事業及び主な事業の取組状況一覧

◆重点関連事業 ●その他事業

◆かめおか市民活動推進センターの機能強化

- ・NPO、NGO、ボランティア組織の情報蓄積、相互支援・協力をコーディネートする「かめおか市民活動推進センター」の検討会開催（23年度）。受付スタッフの常駐（24年度）
- ・センターホームページの開設、運用→リニューアル（29年度）
- ・センターFacebook ページの開設
- ・センター会議室の一般利用者への貸し出し

◆既存スポーツ施設の施設内容・予約のシステム化

- ・スポーツ施設の空き状況の亀岡市ホームページへの掲載（公共施設案内予約システム）
- ・施設内容のホームページへの掲載
- ・京都スタジアム（仮称）の設置（※事業主体は京都府）

◆地球環境子ども村事業の推進

- ・大学、NPO等の専門家を講師に迎え、親子参加形式により亀岡の自然を体感しながら学び、行動に結びつける「亀岡生き物大学」の開催、新規プログラムの充実
- ・京都府立大学・京都学園大学との大学連携（講師派遣等）を実施

◆文化資料館の再編整備

- ・夢ビジョンシンボルプロジェクト（市民・行政協働による取組）における新資料館策定に関する市民アンケート等の実施
- ・新資料館構想の策定に向け、多くの市民と共に学び、語り合う連続講座の開催（24年度）
- ・新資料館構想策定委員会の設置と開催

◆情報共有のためのネットワークづくり

- ・週間行事予定、イベントカレンダーのホームページへの掲載
- ・かめおか市民活動推進センターHP、FB開設や情報紙の発行
- ・市ホームページ施設案内に生涯学習、社会教育施設を掲載
- ・ギャラリーかめおかホームページに施設空き状況の掲載

●ギャラリーかめおか運営の効率化推進

- ・指定管理者の公募 ・市、指定管理者の調整連絡会議（月1回程度）

●自然・ふるさと体験学習の場づくり

- ・森のステーション事業（コテージの新築）
- ・アユモドキ保全活動の実施（行政、市民団体、教育機関、事業者等連携）

●生涯学習拠点としての学校施設の活用

- ・市内公立学校体育館の貸し出し

4 次代を担う人材・指導者の育成

基本的な方向

- ・市民が主体となって、より充実した生涯学習への参加機会を創出し、取組みを継続していくためには、それを支え、リードする人材、指導者が必要です。
- ・本市においては、これまでの取組みを通じて数多くの意識の高い市民が育ってきましたが、今後は各種講座やセミナーを通じて、強い意欲と高い見識を持ったリーダー、ボランティアなどの人材や学習活動に携わる団体・組織をより多く育成していきます。
- ・一方、少子高齢化や核家族化の進展、地域社会の変貌など、大きく変化しつつある青少年、子どもの育つ環境を充実したものにするため、学校教育や社会教育の充実に努め、生涯にわたって自ら学び続けられる基礎的な力と、豊かな心を持った青少年・子どもを育成します。

推進施策

(1) 学習活動を支える人材育成と活性化

- ①生涯学習ボランティアの育成
- ②指導者・リーダーの育成
- ③学習相談員の育成
- ④まちづくり人材・資源の掘り起こしと活用

(2) 学習団体の育成と活性化

- ①市民組織の育成と活動の活性化
- ②学習団体の連携・交流の場づくり

(3) 学校教育の充実

(4) 心の教育の充実

- ①人権教育の推進
- ②男女共同参画社会の実現
- ③青少年健全育成の推進

(5) 市民協働の推進

- ①協働による学習・まちづくり活動の推進
- ②協働を促進・支援する仕組みの充実

成果と課題

○成果

- ・学習活動を支える人材育成と活性化
ボランティア・リーダー・学習指導員などの各種育成講座の開催により様々な人材の育成及び育成事業を通じての活性化が図れた
- ・学校教育の充実
亀岡市教育振興基本計～かめおか教育プラン～に基づき推進
- ・学習団体の連携・交流の場づくり
生涯学習都市宣言記念事業「学びフェスタ」の開催により、学習団体間の連携の強化、例年にはない交流の場づくりができた。
- ・協働を促進・支援するしくみの充実
亀岡市支えあいまちづくり支援金について、支援金交付までの審査過程を見直し、より効果的で自立した活動を促すためのアドバイスを支援団体の事業計画に反映できる体制とした
市民活動を支える基金の創設

○課題

- ・協働コーディネーターの配置
協働コーディネーターの配置に向けて協議等を行ったが、予算措置がなく配置に至らなかった
- ・ガレリアかめおか人材バンクの運用と充実
人材バンクの存在や活用方法について広報不十分、運用方法について検討する必要がある

◆手話、点字、朗読、外出支援ボランティア教室の充実

- ・総合福祉センター等での手話講座（昼及び夜間開催）、要約筆記講座、点訳奉仕員養成講座の開催
- ・市役所内での職員向け手話研修の実施
- ・図書館での読書ボランティア養成講座の開催

◆ガレリアかめおか人材バンクの運用と充実

- ・市民人材が次世代や新たな活動参加者に蓄積を伝え、地域の課題解決や地域活性化に活用する仕組みとしての生涯学習人材バンクの活用と登録者数の拡充。他市状況調査の実施

◆ふるさと学習の推進

- ・地球環境子ども村における自然観察事業の実施
- ・市民の主体的運営を基本とした生涯学習かめおか財団による市民大学や丹波学トークの開催
- ・市内 23 地区において、家庭、学校、地域等が連携し、子どもが社会の一員として必要とされる「心」を育てていくための取組の実施
- ・ふるさとへの愛着や興味・関心を高める一環として“ふるさと学習「かめおか学」等の取組を推進
- ・地域社会における仕事や文化等の体験活動「KYO発見 仕事・文化体験事業」の実施
- ・中学校を卒業するこども達を対象にふるさと体験学習として保津川下り体験

◆人権教育の推進

- ・人権教育講座等の開催
- ・ヒューマンシネマ、ヒューマンフェスタ、ふれあいフェスティバルの開催
- ・人権教育推進協議会等の人権啓発活動への助成
- ・文化センター・児童館等における啓発事業の実施、街頭における啓発活動の実施、啓発冊子の作成
- ・地域、企業、団体の自主的な人権教育啓発活動への人権教育啓発指導員の派遣・情報提供

◆男女共同参画社会の推進

- ・「ゆう・あいステッププラン」（亀岡市男女共同参画計画）に基づき、「ゆう・あいフォーラム」や各種講座、「ゆう・あいセミナー」等の各種啓発事業を実施。
- ・情報誌「ゆう・あいネット」の発行
- ・「亀岡市男女共同参画に係る市民の意識と実態調査」の実施・分析
- ・「ゆう・あいステッププラン～亀岡市男女共同参画計画～」後期実施計画の策定

◆市民協働の推進

- ・かめおか市民活動推進センターのホームページ等の充実
- ・かめおか市民活動推進センターの運営強化
- ・市民活動に対する助成制度（亀岡市支えあいまちづくり協働支援金）を創設するとともに、団体の資金確保の方法について研究。
- ・企画提案型協働事業における龍谷大学との連携による事業検討（23年度）、事業の検討・実施（24年度）
- ・第2次亀岡市まちづくり協働推進実施計画策定
- ・審議会等への市民委員の参加、パブリックコメント実施の推進
- ・美化推進重点地域、河川を中心に、市民・事業者・行政等の協働による清掃活動、街頭啓発活動の実施

●インターナショナル・セーフスクールの取組、推進**●学校図書充実事業の実施**

5 学習社会を支える仕組みづくり

基本的な方向

- ・学習活動はそれ自体が大きな目的であり、目標となるものですが、さらに一歩進んで、その活動がまちづくりに貢献したり、新たな資格の取得や事業化へと進めば、参加・参画する意欲がさらに高まることが期待されます。
- ・このため、これからの生涯学習活動において、学習の成果が社会的に評価され、さらに社会に還元される仕組みづくりに努めます。
- ・また、本市における生涯学習活動がさらに多くの市民に広まり、さまざまな事業が市民の主体的な取り組みのもと、積極的に展開される推進体制を市民、企業、行政が一体となってつくりあげていきます。

推進施策

(1) 学習成果が生きる仕組みづくり

- ①学習成果を活かして地域で活躍する仕組みの構築
- ②生涯学習人材バンクの有効活用
- ③学習成果の評価の仕組みづくり
- ④地域、大学、企業との連携による学習成果のまちづくりへの活用

(3) 市民の主体的活動の促進

- ①市民主体のプログラム運営の促進
- ②市民提案・企画の募集
- ③相互支援の子育て体制の充実
- ④市民生涯学習活動への支援

(2) 生涯学習推進体制の充実

- ①企業の協力体制の確立
- ②生涯学習推進組織の活性化
- ③高等教育機関との連携の強化

成果と課題

○成果

- ・学習成果の発表の場づくり
生涯学習記念事業、支援金成果報告会、大学連携事業報告会、イベント（かめおか霧の芸術祭、アグリフェスタ、市民文化祭・美術展）など、学習成果の発表の場づくり多数創出できている。
- ・人材バンクの有効活用
生涯学習都市宣言 30 周年記念事業「学びフェスタ」の開催における実行委員会立ち上げ時の活用
- ・高等教育機関との連携強化
必要に応じ各教育機関、研究機関と協定締結などによる連携が強化できている。
また、亀岡カーボンマイナスプロジェクトをはじめ、教育機関の教員だけでなく、学生が地域の取り組みに参画する機会の創出も実現できている。

○課題

- ・企業の協力体制の確立
企業が生涯学習活動に対して協力・支援する仕組みづくりができていない
- ・学習成果の評価の仕組みづくり
一定の基準で評価する仕組みづくりや生涯学習の視点での評価には至っていない。
計画に記載された認定システム構築にも至っていない。

◆ガレリアかめおか人材バンクの有効活用

- ・市民人材が次世代や新たな活動参加者に蓄積を伝え、地域の課題解決や地域活性化に活用する仕組みとしての生涯学習人材バンクの活用と登録者数の拡充。他市状況調査の実施
- ・生涯学習都市宣言 30 周年記念事業での活用

◆地域、大学、企業との連携による学習成果のまちづくりへの活用

- ・京都学園大学：学术交流プロジェクト、学習会、共同研究の実施
- ・龍谷大学：協働まちづくりへの連携・研究の実施
- ・3 大学（龍谷・立命・学大）、地元企業、地元農家、地元教育機関等：温室効果ガスの削減と都市部から農山村部への資金を還流させる仕組みの構築（亀岡カーボンマイナスプロジェクト）
- ・京都学園大学、亀岡商工会議所、(株)京都パープルサンガ：スポーツを通じた市民の元気アップと地域活性化のための「京るかめおか元気アップ協定」の締結。
- ・地球環境学総合研究所：包括協定締結による「食と農のワークショップ」の開催

◆生涯学習かめおか財団の運営の高度化

- ・指定管理者の公募（H29）
- ・市、財団連絡調整会議(月 1 回程度)

◆生涯学習都市推進組織の改組・再編

- ・生涯学習都市推進会議から生涯学習推進審議会への改組

◆生涯学習活動への支援

- ・生涯学習かめおか財団による生涯学習活動助成金の運用
- ・支えあいまちづくり協働支援金の運用
- ・ガレリアニュースの発行
- ・後援事業の市ホームページ、SNS 等での情報発信
- ・かめおか市民活動推進センター会議室貸し出し、相談業務
- ・公民館サークル連絡協議会及び公民館サークル祭りへの補助金交付

●相互支援の子育て体制の充実

- ・ファミリーサポーター制度

●市民主体のプログラム運営の促進

- ・生涯学習市民大学における運営委員会の設置
- ・各事業における実行委員会の設置
（亀岡霧の芸術祭、ハーフマラソン、ガレリア事業輝きフォーラム「ワンデイカフェ」など）